

鎌ヶ谷市男女共同参画計画策定委員会
令和2年度第2回会議録

書面開催 令和3年1月18日(月)

委員 内海崎貴子委員、上田智子委員、芹澤佐知子委員、藤本勲委員、
渡辺善彦委員、森田和雄委員、佐川幸江委員、鈴木和子委員、
太田直美委員、平田真裕美委員

事務局 後藤市民活動推進課長、小林男女共同参画室長、藤嶋補佐、
萩原主査補、山崎プロジェクトマネージャー

会議内容

1 会議録署名人の選出について

今回は、佐川委員、太田委員が選出された。

2 議題

(1) 第3次鎌ヶ谷市男女共同参画計画(案)に関するパブリックコメントの結果について

各委員からのご意見及び事務局の回答は以下のとおり。

	該当箇所	ご意見	回答
1	資料5の8ページ	市の女性管理職比率について、5年前より、パーセンテージはやや下がっていますが、県内37市中1位は素晴らしい成果です。できれば、他市の男女職員の比率がわかれば更に良いと思う。	他市の男女比率の記載に関しては、他市のこともあるため、控えたいと思います。
2	資料5の14ページ	アンケート結果にある「n」について、説明が14ページにあるが、アンケート結果として、初めて出てくる29ページにも記載があると親切でわかりやすいと思う。	29ページに追記します。
3	資料5の21、22、24、37、50ページ	目標I・II・IIIの体系図について、字体が明朝体となっており、文字が見えづらい。ゴシック体に変更するとよいと思う。	ゴシック体に修正します。
4	資料5の25ページや62ページ等	男女平等と思う人の割合が低い(特に男性)というアンケート結果に対して、計画では、「活動の推進として、男女共同参画社会の形成として市民一人ひとりの男女共同参画意識の醸	ご意見のありました「男性に男女共同参画の重要性を認識してもらうための広報・啓発活動」やご提案の

		<p>成を図る取組みが必要です」としている。</p> <p>意見として、「男性に男女共同参画の重要性を認識してもらうための広報・啓発活動」が必要であると思う。</p> <p>男性の多くは、性別分業の発想から脱却できていない。これまで社会の中心を担ってきた男性の意識と生活スタイルが変化しなければ男女共同参画は進まないと思う。男性が、女性の持っている力を認め、女性が活躍できる社会の形成を意識しなければ、男女共同参画社会の実現は困難であると思う。</p> <p>その効果として、男女で効率よく働き、ともに家庭・地域に責任を持つ仕組みを形成するために「ワーク・ライフ・バランス」を前提とした「男性のみが参加する」啓発講座を開設するなどの方策が必要と思われる。単に、情報の提供、発信力などを強化するだけでは、十分に達成できないと思う。</p>	<p>ありました「男性のみが参加する」啓発講座の開設等については、今後の取組みの参考とさせていただきます。</p>
5	資料5の40ページ	アンケート結果が見えづらい。難しいと思うが、可能な限り修正願いたい。	可能な限り修正します。
6	その他	文章の言い回しや字句の修正等に関する確認依頼（複数あり）	指摘内容を確認し、必要に応じて修正します。
7	その他	特に訂正等の意見はありません。県内でも、鎌ケ谷の男女共同参画基本計画は、優れていると思います。	
8	その他	<p>全体として、きめ細かな記載となっており、随所に用語説明が記されており、男女共同参画の趣旨がわからない方であっても、計画を見ていただければ難しい専門用語があってもおおむね内容が理解していただけるよう、工夫が行き届いているように思いました。</p> <p>現状値と目標値もわかりやすく明記されていて、市の目指す姿がよくわかります。</p>	
9	その他	わかりやすくよくまとめられていると思います。	
10	その他	意見なし（複数あり）	

○以上で会議は終了した。

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和3年2月9日

氏名 佐川 幸江

氏名 太田 直美